

# 活動記録 2009(平成21)年度

2009年 4月 1日 ~ 2010年 3月31日 (第2期)

## 議論・交流

---

### 定例会

昨年に引き続き、ほぼ毎月1回(10月と2月を除く、計10回)、第二木曜日の夜に会合を開いて意見交換や今後の方針などを話し合った。会の意思決定機関としても機能している。

### メーリングリスト (ML)

会員同士の意見交換や情報交流、および定例会で決めきれなかった会の迅速な意思決定にも活用。

### 電子メールアドレス、名刺の発行

日々の活動や情報交流にご活用いただけるよう、希望された会員に発行。

### 交通相談

イベント出展時に、地域交通に関する意向を訊ねる交通アンケートを実施しているが、それをきっかけに来場者からの交通相談を受ける機会を設けた。

### 勉強会・講演会

「MAKE the RULE 川崎」キャンペーン展開の一環で、7月に勉強会を、10月に講演会を開催(共催)。

## 情報発信

---

### ホームページ

会の取り組みの紹介・報告・記録が主だが、地域交通にまつわる特徴的な場面を撮影した写真の掲載(「今月の写真」)や、各地での先進的な取り組みの紹介(動画貼り付け)、ニュース配信なども行っている。ホームページは重要な広報の機会だが、今の態勢では維持も厳しくなっており、1~2月にかけては更新を休止する事態に陥った。一層の内容拡充を目指すには編集・管理態勢の強化が課題。

### メールマガジン

会の活動報告、今後の予定、書評やコラム、イベント・パブコメ情報などを掲載し、電子メールで配信している。しかし2009年12月号を最後に以降休刊状態に。原稿募集はもとより、編集態勢の立て直しの目処も立っておらず課題になっている。

### twitter (ツイッター)

会の取り組みやホームページ更新などの最新情報の配信に活用すべく、3月から試行を始めた。地域交通にまつわる話題の配信も含め、数日に1度程度の頻度で配信を行っている。

### 資料室 (MediaWiki)

準備はしたものの、管理者不在(人手不足)で開店休業状態が続く。

### かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」

かわさき市民活動センターが運営するポータルサイト(ホームページ)。情報登録担当者の不在などにより十分な活用ができてはいないが、講演会開催や冊子頒布などの告知に利用している。

### チラシ

2008年10月 1回発行した配布専用のチラシを最後に、本年度は発行しなかった。

## 会報

検討もできていない。まずはメールマガジンの円滑な編集・発行態勢の確保が優先か。

## 組織

---

### 会員・協力会員・賛助会員の募集

会員（活動に参加し、費用面でも会を支える人）、協力会員（主に情報提供やイベント準備などにボランティアで協力する人）、賛助会員（資金面で会を応援する人・団体）を随時募集している。

### 寄付の募集

寄付・カンパを随時募集している。

## 企画・連携（敬称略）

---

### イベント出展

7月「なかはらっぱ祭り」@中原市民館、9月「市民共同おひさま発電所1周年記念イベント」@川崎市国際交流センター、12月「高津区市民活動見本市」@てくのかわさき、1月「かわさきボランティア・市民活動フェア」@中原市民館、3月「エコ・フェスタかわさき」@川崎市総合自治会館、に出展。  
また、9月「横浜カーフリーデー」@横浜市中区に参加団体として名を連ねる。

### キャンペーン

「世界道路交通犠牲者の日」の広報を行った。

「MAKE the RULE 川崎」を立ち上げ、連携体制を構築するとともに、講演会の共同開催などを行った。

### 他会との連携

川崎の交通とまちづくりを考える会 (K cube)、川崎フューチャー・ネットワーク (KF net)、アクト川崎、クルマ社会を問い直す会、などと連携企画を展開。

### 行政政策とのかかわり

2008年度に引き続き、代表が「エコシティたかつ」推進委員として参加した。2009年度で任期満了。

### 意見書

『自動車購入補助金に反対する声明』（5月、クルマ社会を問い直す会ほか2団体）、NGO共同声明「高速道路無料化・自動車関連諸税の暫定税率廃止に、反対します ~ 高速道路無料化・割引は撤回し、暫定税率は炭素税などにシフトを ~」（8月、気候ネットワークほか26団体）、『公共の交通への緊急アピール』（12月、全国路面電車ネットワークほか61団体）などに賛同・参加。およびパブリック・コメントに随時対応。

### 資料制作

「地域交通出前講座シリーズ」を企画・制作・頒布（後段参照）。

「世界道路交通犠牲者の日」リーフレットを制作・発行・配布（11月、クルマ社会を問い直す会と共同）。

活動記録 (日付順、敬称略)

	対外活動・公式活動	運営・手続き
4月	<p>[22] 『「MAKE the RULE 川崎」立ち上げの会(仮称)』開催</p> <p>[29] 市内コミュニティバス要望地区現地視察(関係者のみ)</p> <p>[30] 「川崎市環境基本計画の改定に向けた基本的な考え方」に関する意見書」提出</p>	<p>[05] メルマガ(10)</p> <p>[09] 定例会(12)</p>
5月	<p>[01] 藤沢市連接バス・コミュニティバス、茅ヶ崎市・神奈中自転車ラックバス、コミュニティバス「えぼし号」現地視察(関係者のみ)</p> <p>[06] 「自動車購入補助金に反対する声明」発表(クルマ社会を問い直す会ほか2団体)</p> <p>[16] 『「地球温暖化対策の中期目標に対する意見の募集」に関する意見書』提出(内閣府宛)</p> <p>[20] 『「MAKE the RULE 川崎」作戦会議』開催(以降毎月実施)</p> <p>[24] 「MAKE the RULE 川崎」ブログ開設</p>	<p>[13] メルマガ(11)</p> <p>[14] 総会・定例会(13)</p>
6月	<p>[09] 「「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例の改正素案」に関する意見書」提出(まちづくり局交通計画課宛)</p>	<p>[10] メルマガ(12)</p> <p>[11] 定例会(14)</p>
7月	<p>[17] 野川南台コミュニティバス現地視察・説明会開催(関係者のみ)</p> <p>[19] 『なかはらっぱ祭「第5回なかはら市民活動の集い」』出展</p> <p>[28] 「市民主催の環境タウンミーティング」(川崎市地球温暖化対策条例の意見交換会)開催</p> <p>[28] PM2.5の環境基準設定に向けて意見を提出フォーム提供</p> <p>[31] 『「(仮称)川崎市地球温暖化対策条例の基本的な考え方」に関する意見書』提出</p>	<p>[09] メルマガ(13)</p> <p>[09] 定例会(15)</p>
8月	<p>[06] 『NGO共同声明「高速道路無料化・自動車関連諸税の暫定税率廃止に、反対します～高速道路無料化・割引は撤回し、暫定税率は炭素税などにシフトを～」』に賛同(気候ネットワークほか全国26団体共同)</p> <p>[12] 『「高速道路無料化・暫定税率廃止に起因する環境・社会影響」検証ペーパー』掲載・配布(上岡直見氏からの寄稿)</p>	<p>[12] メルマガ(14)</p> <p>[13] 定例会(16)</p>
9月	<p>[05] 「市民共同おひさま発電所 1周年記念イベント」協力</p> <p>[22] 「横浜カーフリーデー2009」へ団体参加</p>	<p>[10] メルマガ(15)</p> <p>[10] 定例会(17)</p>

10月	<p>[08] 「MAKE the RULE」 請願（6団体共同提出）が川崎市議会にて全会一致で趣旨採択</p> <p>[26] MAKE the RULE 川崎 地域セミナー 「脱温暖化2050プロジェクト」勉強会を開催（共催）</p>	<p>[09] メルマガ(16) （定例会中止）</p> <p>[22] 作業日</p>
11月	<p>[08] 「環境・交通・まちづくり市民フォーラム」@池袋（主催：青空の会）出展</p> <p>[15] 「世界道路交通犠牲者の日」の普及啓発リーフレットを製作・配布</p> <p>[15] 川崎市「歩行者・自転車の安全な通行環境の社会実験」現地視察</p> <p>[27] 『「神奈川県地球温暖化対策計画」骨子(案)に関する意見書』を提出</p>	<p>[11] メルマガ(17)</p> <p>[12] 定例会(18)</p>
12月	<p>[04] 『「公共の交通への緊急アピール」NGO共同声明』に賛同</p> <p>[06] 「高津区市民活動見本市2009」出展</p> <p>[12] 「MAKE the RULE グローバル・アクション 東京パレード」参加</p> <p>[24] 「バス共通カードの取り扱い終了に際しての提案書 路線バスをもっと便利でお得にする機会にするために 」提出（交通局管理課宛）</p>	<p>[10] メルマガ(18)</p> <p>[10] 定例会(19)</p>
1月	<p>[20] 『「神奈川県地球温暖化対策計画」（素案）に関する意見書』提出</p> <p>[30] 地域交通出前講座シリーズ臨時号『富山市の「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」』発行</p> <p>[30] 地域交通出前講座シリーズ#2『交通・環境・まちづくり おすすめ図書』発行</p> <p>[30] 「かわさきボランティア・市民活動フェア」出展</p>	<p>（メルマガ欠号）</p> <p>[14] 定例会(20)</p>
2月	<p>[11] 茅ヶ崎「自転車サイズのまちづくり」現地視察（関係者のみ）</p>	<p>（メルマガ欠号）</p> <p>（定例会休止）</p> <p>[24] 作業日</p>
3月	<p>[21] 地域交通出前講座シリーズ#3『低炭素社会を実現するために』発行</p> <p>[27] 「エコ・フェスタかわさき2009」@総合自治会館に出展</p> <p>[31] 「歩行者の安全を求める議員連盟」準備会協力</p> <p>[31] 「かわさき市民公益活動助成金」スタートアップ助成の事業等報告書を提出</p>	<p>（メルマガ欠号）</p> <p>（Web更新停止～03/22）</p> <p>[11] 定例会(21)</p> <p>[23] twitter利用開始</p>

## 市内事業「人と環境にやさしい地域交通の利用をすすめる事業」概要

### 「地域交通出前講座シリーズ」冊子制作

毎日の生活に欠かせない身近な地域交通に関する最新情報や専門家の講演などに気軽に接していただけるようお届けすることで、私たち市民の、人と環境にやさしい地域交通に関する情報収集の一助になるよう資料制作・頒布を行った。

- #01 小林成基氏『クルマ離れ加速 自転車が似合うまちへ待ったなし!』(2009年4月発行、A4判20p、約1,000部、自転車スイスイさんとの共同発行)
- #02 『交通・環境・まちづくり おすすめ図書』(2010年1月発行、A5判16p、約480部)
- 臨時号『富山市の「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」』(2010年1月発行、A4判4p、約160部)
- #03 榎原友樹氏『低炭素社会を実現するために』(2010年3月発行、A4判20p、約360部)



これまでに発行した3冊

本誌は かわさき市民活動センター 高津区市民活動支援ルーム(高津区役所4階、高津市民館11階) 県立川崎図書館 「すくらむ21」 かながわ県民活動サポートセンター などに置いていただくとともに、イベント出展時に配布を行っている。

### イベント出展、アンケートの実施

市内のイベントに計4回出展し、交通アンケートの実施、前述の冊子をはじめとする資料配布、交通相談などを実施し、来場者に関心を持っていただくきっかけづくりと市民の要望把握・情報収集を行った。



### 「MAKE the RULE 川崎」連携の場の創出

「MAKE the RULE」キャンペーンをきっかけに環境分野で市民団体同士の連携の場を創出し、以降、諸団体で協力して勉強会や講演会(MAKE the RULE キャンペーン実行委員会と共催、地球環境基金の全額助成で実施)を開催するなど、連携した取り組みに発展している。



### 「世界道路交通犠牲者の日」の普及啓発

世界中で展開されているものの、日本国内では知名度の低い「世界道路交通犠牲者の日」を市内で紹介することで、道路交通安全に関心を持っていただく機会とした。当会では、クルマ社会を問い直す会さんなどと協力してリーフレットを作成するとともに、記念日当日の11月15日(第三日曜日)に川崎駅東口にて街頭配布を行った。

2010.01.30 かわさきボランティア市民活動フェア@中原市民館 出展イベントで実施した交通アンケート

### かわさき市民公益活動助成金事業

本事業は、「平成21年度かわさき市民公益活動助成金事業」として認められ、総額10万円の助成金を受けて実施した。

## 今年度事業の振り返りと課題

---

### 「地域交通出前講座シリーズ」冊子制作

「地域交通出前講座シリーズ」をはじめとする資料制作・頒布事業では充実した取り組みができ、幸いにご評価もいただくことができた。一方で、担当者の多忙などが課題になっていることを受けて、2010年度のかわさき市民公益活動助成金の申請は一旦お休みとし、今後につなげる準備期間にしたいとの方向で合意した。

なお、既刊の増刷や、すでに準備が進んでいる企画のうち2009年度中に印刷・製本が間に合わない分については、機会が得られれば継続して取り組んでゆくとともに、当会で蓄積したノウハウを活かした情報提供協力等も無理のない範囲で行ってゆくこととした。

### イベント出展と調査、連携創出

イベント出展では、来場された皆さんに地域交通分野への関心を高めていただくきっかけになるとともに、地域で活躍されている皆さんとの交流や、川崎市域で抱える地域交通にまつわる課題の抽出などの機会となっている。市内でのイベント出展は無理のない範囲で継続してゆきたい。

また、2009年度に環境関連団体の連携の場として立ち上げた「MAKE the RULE 川崎」が軌道に乗り始め、地域連携の場として育ちつつある。今後とも、こうした経験や機会を活かしてゆきたい。

### 「エコシティたかつ」をはじめとする地域の取り組みへの参加

当会代表は「エコシティたかつ」推進会議委員として、2008～2009年度の2年間にわたり、推進方針の策定に携わってきた。結果、推進方針の中長期展望に「環境負荷の小さい地域交通政策の検討」が入る、最終会合が開かれた本日は地域の課題解決にコミュニティづくりが欠かせないことを実感した経験を活かして地域コミュニティへの支援を提唱するといった成果を挙げてきた。

それにも増して、地域の一員として微力ながらも地域のお役に立つことができたし、代表を通じて会としても地域の取り組みに係わることができ、他分野でご活躍中の皆さんとの交流の機会ともなっており、大変良い経験ができた。

### 「横浜カーフリーデー」、「環境・交通・まちづくり市民フォーラム」への参加

当会は2008年度より引き続き「横浜カーフリーデー」参加団体に加わった。しかしながら、2009年度開催では実質午前中および撤収のみの限定的なお手伝いしかできず、さらに今年からは実行委員会が毎週土曜日午前中の定例開催になったことから、担当者の都合がつかず全く参加できない状況が続いており、課題になっている。

一方、2009年度のモビリティウィークには担当者がさいたま、春日部などの会場へ伺い、各地の市民団体や行政の皆さんとお会いするきっかけを得てきた。モビリティウィーク&カーフリーデー自体は当会の趣旨とも合致し、今後とも参画してゆけたら良いが、会内部の事務作業すらままならない状況に陥る中、今後の係わり方について再検討の必要も生じている。

また、11月には「環境・交通・まちづくり市民フォーラム2009」に出展するとともに、本会代表より「高速道路値下げ・無料化の問題点」に関する話題提供をさせていただいた。この報告書は現在制作中となっている。今後とも、各地でご活躍されている団体との連携にも取り組んでゆきたい。

以上